

授業科目	臨床ゼミナールⅣ				
担当者	辻 郁				
実務経験者の概要	作業療法士免許取得後、医療機関、保健行政で作業療法を実践してきた。特に保健行政では、身体障害、老年期障害、精神障害、発達障害、一般住民など多様な方々への作業療法を行ってきた				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

臨床現場での実習直前の準備のための科目とする  
情報の統合の方法を事例を通して学習する

## ■ 到達目標

事例を読み込めて全体像が把握出来る  
専門基礎科目で学んだ知識が定着している

## ■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 事例分析 1-1
- 第3回 事例分析 1-2
- 第4回 事例分析 2-1
- 第5回 事例分析 2-2
- 第6回 事例分析 3-1
- 第7回 事例分析 3-2
- 第8回 分析事例のまとめ・報告

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）】100% ※ケースノートの評価は作業療法治療学実習Ⅱの成績に反映させます

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業時に持参すべきテキスト等の確認をしておくこと

## ■ 教科書

書 名：不要

## ■ 参考図書

書 名：国際生活機能分類 -国際障害分類改訂版-  
著者名：世界保健機関（WHO）  
出版社：中央法規

## ■ 留意事項

これまでの学習内容が実践への橋渡しとなるよう、自ら積極的に取り組むこと  
自ら取り組むことで、学習の楽しさや作業療法の面白さ、大切さが実感できることを期待する

## ■ 講義受講にあたって

これまでのすべての学修が基盤となって進みます。臨地実習に出る前の最終準備として取り組んでください。